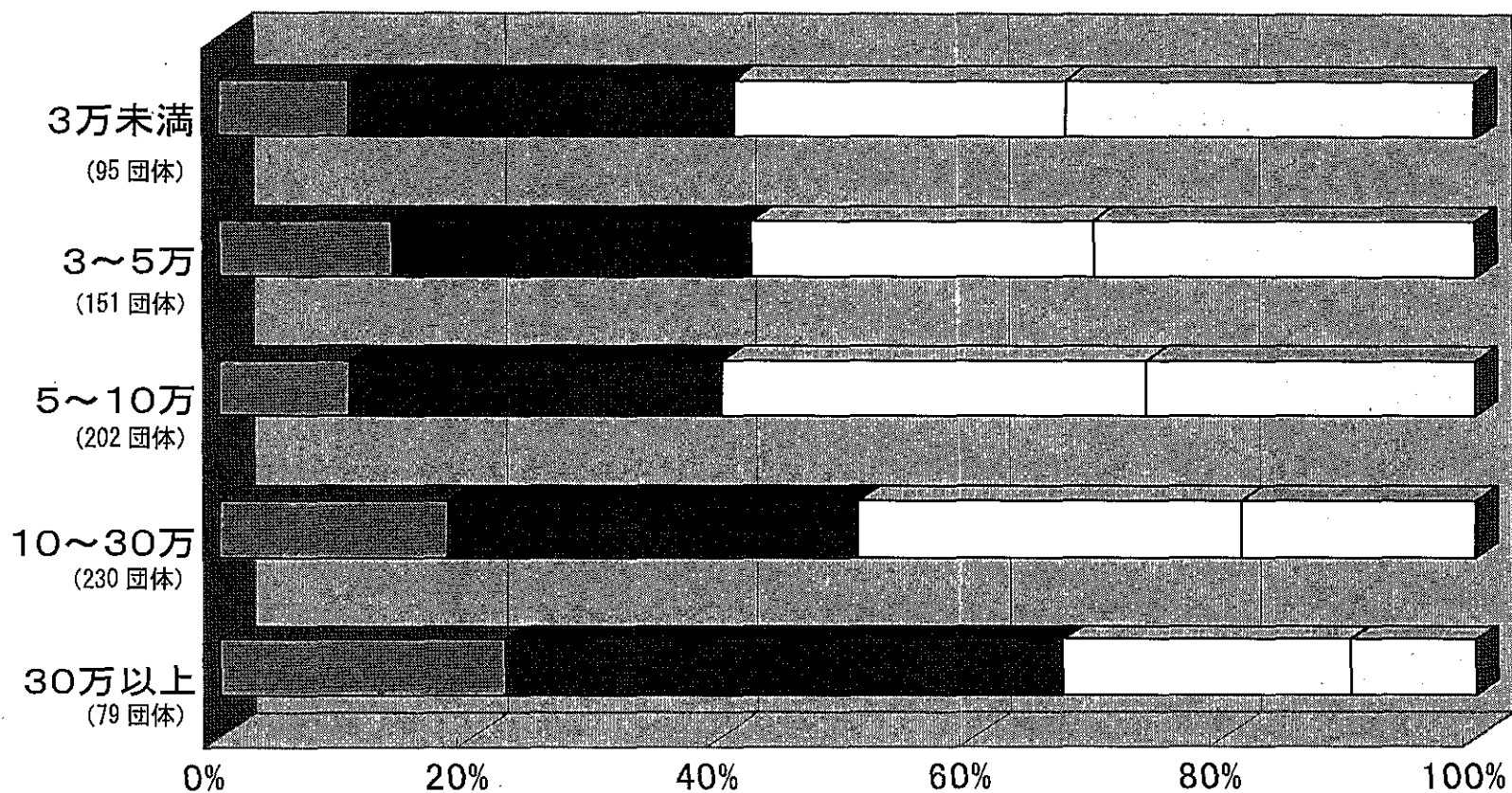






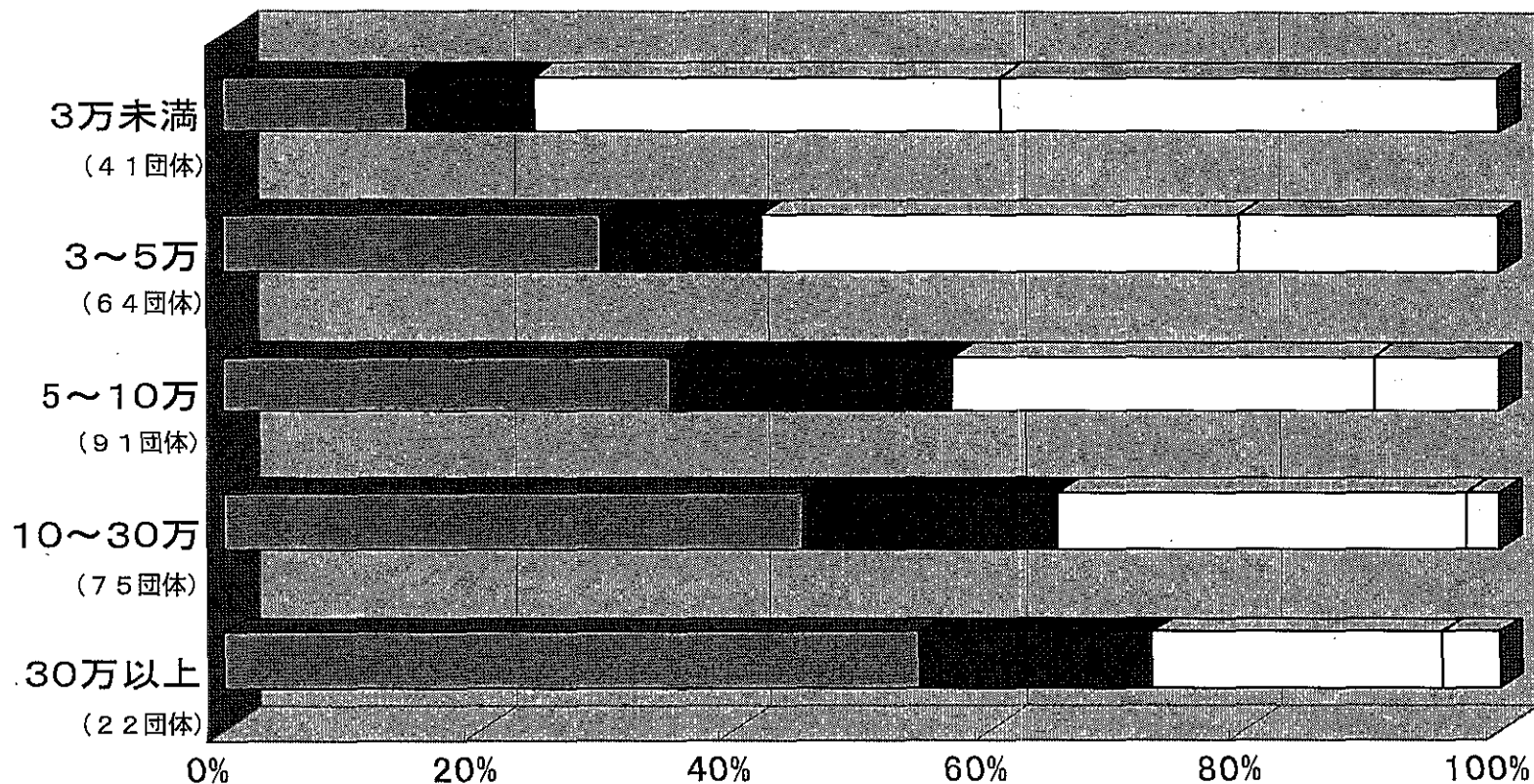
# 救急医療情報システム利用状況（人口規模別）







-  : 主たる照会手段として利用
-  : 補完的な照会手段として利用
-  : ほとんど利用していない
-  : 全く利用していない

	主たる手段	補完的	ほとんど	全く
3万未満	11%	31%	26%	33%
3~5万	14%	28%	27%	30%
5~10万	10%	30%	34%	26%
10~30万	18%	33%	30%	19%
30万以上	23%	44%	23%	10%
合計	15%	32%	29%	24%

## 救急医療情報システムを利用していない理由（人口規模別）



-  : リアルタイムでない、信憑性が低い
-  : 独自で情報収集
-  : 当番制、輪番制確立
-  : 医療機関が限られている

(理由が「その他」に分類された消防本部を除く。)

	リアルタイム	独自収集	当番・輪番	医療機関限定
3万未満	15%	10%	37%	39%
3~5万	30%	13%	38%	20%
5~10万	35%	22%	33%	10%
10~30万	45%	20%	32%	3%
30万以上	55%	18%	23%	5%
合計	35%	17%	33%	14%